

知ってほしい、議会のこと

草津市

# 議会だより

令和5年8月1日  
発行

No. 188

令和5年5月臨時会、6月定例会号



6月30日に、(仮称)草津市立プールの建築現場を視察しました。

このプールは令和7(2025)年開催予定の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場としても使用される予定です。





# 審議された主な議案

総務常任委員会

【議第39号】  
草津市税条例の一部を改正する条例案

全員賛成

## 森林環境税の導入

### 議案概要

個人市民税均等割について、温室効果ガス排出削減目標の達成等を図るため、令和6年度から新たに国税の森林環境税（1人年額1,000円）を賦課徴収する改正等。

\*従来の臨時措置は令和5年度で終了。

### ● 審査における質疑応答／意見

#### 議員 市税の増額の臨時措置が

令和5年度で終了し、国税の森林環境税が導入されるにあたり、本市の財政への影響は？

市 本市の減収分に関しては、

一定額地方交付税として交付される。



#### \*森林環境税とは

森林環境税は、森林環境税および森林環境譲与税に関する法律（平成31年3月29日法律第3号）に基づき、市町村および都道府県が実施する森林の整備およびその促進に関する施策の財源に充てるため、個人住民税均等割に上乗せして課される税金です。国の課す税金ですが、実際の徴収は個人住民税に併せて市町村が行います。その収入額は、森林環境譲与税として、市町村および都道府県に対して譲与されます。

文教厚生常任委員会

【議第41号】  
草津市医療費特別助成条例の一部を改正する条例案

全員賛成

## 子どもへの医療費助成範囲の上限を 高校卒業程度まで引き上げ

### 議案概要

子どもへの医療費助成について、小学生までの入院通院医療費および中学生の入院医療費を対象としているが、子育て世帯すべてを網羅する形で、経済的負担の軽減を図るべく、助成範囲の上限を高校卒業程度まで引き上げるもの。また助成方法をすべて現物給付とするよう改正する。施行期日は令和5年10月1日と定め、令和5年10月診療分の医療費から適用となる。

### ● 審査における質疑応答／意見

#### 議員 今回拡大される対象は高

校生がほとんどだと思いが、働いておられる方や、色々な環境の対象者がおられる。この対象の割合は、どのように把握しているのか？

市 本市にお住まいの当該年

齢の方は把握していないが、令和2年度に国の統計があり、98・8%の方が進学をされるという結果が出ており、本市も同等の水準と推測している。

#### 議員 交付のあり方、手続きに

ついての考えは？

市 今後の手続きについては、

本市にお住まいで当該年齢に該当される方から、既に他の制度等で助成を受けておられる方を除いた方々に対して、8月中に直接申請勧奨通知を送り、返信があった方に、9月以降随時受給券を送付するという方法を考えている。

# 5月臨時会・6月定例会について

令和5年5月16日に5月臨時会を開き、議案3件が市長から提出されました。

令和5年6月9日から6月30日まで6月定例会を開き、議案13件が市長から提出されました。なお、議員からは、意見書案3件を提出し、請願1件を紹介提出しました。

今号では、6月定例会中の6月23日から28日までに4つの常任委員会に付託された条例案や補正予算案などを慎重に審査した内容の中から、いくつかの質疑を要約してお伝えします。

## 産業建設常任委員会

【議第42号】  
草津市産業振興条例案

### 産業の振興に向けた新条例

#### ●議案概要

昨今の急激な社会および経済情勢の変化に対応した幅広い産業振興策を講じる必要がある中、本市の経済発展と市民生活の向上を図ることを目的として、雇用拡大と収益確保等の諸課題に対応し、地域社会の持続的な発展を目指すもの。

#### ●審査における質疑応答／意見

**議員** 中小事業者への支援が特に求められる。どのあたりに焦点が当たっているのか。

**市** 実際の実行計画は「産業振興計画」で定めていくが、以前から支援を講じていた従来の工業に加え、幅広く商業の分野にも広げていく考え。

**議員** 例えば、飲食関係と草津産野菜を結びたい。できるのか。

**市** 現在も、コーディネートタがマッチング訪問をしているが、製造業が中心であった。今後は農商連携など、幅広い連携を推進していく。また、創業や起業などのイノベーションを創出していく観点と既存の中小企業を支えていくという観点の二つを掲げて推進していく。

全員賛成

## 予算常任委員会

【議第36号】  
令和5年度草津市一般会計補正予算  
(第2号)

### 保護者、保育士の負担を軽減

#### ●議案概要

県内初！ 保育施設等における紙おむつ無償化。保育施設等に定期的に紙おむつを支給し、おむつへの名前書きや補充等の保護者の負担を減らし、併せて保育士のおむつ管理に係る負担を軽減。

#### ●審査における質疑応答／意見

**議員** 紙おむつの無償化事業は、現場の保育施設等のそれぞれの施設の反応や市民の反応はどのようなものであるか。

**市** 園長会にて、説明したところであるが、概ね良い反応だった。報道後の市民の反応は特にない状況。

**議員** 紙おむつは、色々なメーカーがあり、メーカーによってサイズも違ってくるが、事業者選定において、対応は考えているか。

**市** プロポーザル方式での事業者選定を行うものだが、審査項目の中に品質保証や保護者ニーズによる評価項目を設けるといふことで対応していきたい。

全員賛成

**議員** 施設によっては、布おむつを利用しているところもあり、施設の方針も尊重することも必要と思う。

**市** メーカーの選定も含めて、施設との詳細な使用方法等を確認しながら適切に進めてまわりたい。

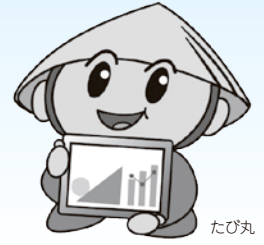
**議員** 来年度以降の予算の積算について伺う。

**市** 今年度の実績値を的確に把握して、予算措置していきたい。

『委員会意見』 予算執行にあたっては、利用者等、現場での声をしっかり聴き、十分な事業効果が得られるよう取り組まれない。

令和5年5月臨時会  
および6月定例会

# 議決結果一覧表



議員別表決結果は  
HPで見られます。



## 【5月臨時会】

議案番号	件名	付託先	結果
議第33号	専決処分の承認を求めることについて《税条例の一部改正》	即決	承認
議第34号	専決処分の承認を求めることについて《国民健康保険税条例の一部改正》	即決	承認

議案番号	件名	付託先	結果
議第35号	令和5年度草津市一般会計補正予算（第1号）	予算	原案可決

## 【6月定例会】

議案番号	件名	付託先	結果
議第36号	令和5年度草津市一般会計補正予算（第2号）	予算	原案可決
議第37号	令和5年度草津市学校給食センター特別会計補正予算（第1号）	予算	原案可決
議第38号	令和5年度草津市水道事業会計補正予算（第1号）	予算	原案可決
議第39号	草津市税条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第40号	草津市手数料条例および草津市印鑑の登録および証明に関する条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第41号	草津市医療費特別助成条例の一部を改正する条例案	文厚	原案可決
議第42号	草津市産業振興条例案	産建	原案可決
議第43号	草津市都市公園条例および草津市立ロクハ公園駐車場条例の一部を改正する条例案	産建	原案可決
議第44号	財産の交換につき議決を求めることについて	産建	原案可決

議案番号	件名	付託先	結果
議第45号	草津市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第46号	下笠町財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第47号	草津市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第48号	草津市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即決	同意
請願第1号	難聴と認知症防止のため補聴器購入の助成制度を求める請願書	文厚	不採択
意見書第4号	物価高騰の中で最低賃金の緊急的な引上げを求める意見書(案)	即決	否決
意見書第5号	「残業代不支給」となっている教員給与特別法の廃止を求める意見書(案)	即決	否決
意見書第6号	同性婚を認める民法改正等法整備を求める意見書(案)	即決	否決

※付託先…議案の審査を行う所管委員会。  
なお、付託しない場合は、本会議で即決。  
〈 〉は件名に対する補足説明を表します。



## 令和5年10月定例会を開催予定



皆様の傍聴をお待ちしています!

月	火	水	木	金	土	日
16	17	18	10/19 10:00~ 本会議(開会)	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	31 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	11/1 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	2 9:30~ 総務常任委員会	3	4	5
6 9:30~ 文教厚生 常任委員会	7 9:30~ 産業建設 常任委員会	8 9:30~ 予算常任委員会	9 9:30~ 決算特別委員会	10 9:30~ 決算特別委員会	11	12
13 9:30~ 決算特別委員会	14 9:30~ 決算特別委員会	15	16 10:00~ 本会議 (委員長報告、採決、閉会)	17	18	19

日程は、都合により変更になる場合があります。 日程の変更は、ホームページでお知らせします。





## 土肥 浩資 市民派クラブ



### 良質な睡眠習慣の確立の推進

**議員** 「良質な睡眠習慣の確立の推進」や「健康にとっての睡眠の重要性の啓発」について取組実績と自己評価は。

**市** 乳幼児健診の際に保護者に対し「早起き・早寝の習慣づくり」を啓発するとともに、高齢者に対して睡眠講座を開催する等の啓発に取り組んでいるが、乳幼児や高齢者以外の、特に働く世代に特化した啓発は市として進めてこなかったため、今後の課題として受け止めている。

### 働く世代の睡眠習慣の改善

**議員** 働く世代の睡眠不足は草津市の地域経済や税収に悪影響を与える。体調管理について自己責任や自己管理を求められる働く世代にこそ、睡眠習慣の改善に向けた啓発等の取組を進めていくべきではないか。

**市** 今後は市の健康都市づくりに向けた取組に賛同いただいた200を超える事業所を中心に、「健康経営」の普及促進に加え、睡眠の重要性に関する情報を提供していく。

#### その他の質問

- ・高齢者の良い睡眠習慣の確立「草津市版みんないく」の導入

## 井上 薫 草政会



### 史跡芦浦観音寺と歴史資料館整備

**議員** 芦浦観音寺周辺整備の進捗状況や現状課題と芦浦観音寺周辺に整備するとされている歴史資料館の整備の考え方を伺う。

**市** 芦浦観音寺周辺整備は、概ね順調だが、活用している国庫補助金の交付状況が厳しい状況であり、国に対して必要額確保の働きかけを継続していく。また、歴史資料館についても学習効果と集客が期待できる芦浦観音寺近辺に整備することで現在計画を進めている。

### 県道片岡栗東線の整備

**議員** 県道片岡栗東線の整備に係る守山市の市街化編入による草津市への影響についての考え方と守山市や県への働きかけについての考え方について伺う。

**市** 守山市側の開発については、農業用水を始め、営農活動に影響を及ぼさないよう意見をしている。また県道片岡栗東線の歩道整備についても安全対策上重要と考えており、引き続き県と連携を図りながら要望していきたい。

#### その他の質問

- ・商業施設について
- ・都市計画道路下笠下物線について

## 田中 香治 草政会



### 草津宿本陣の耐震改修工事

**議員** 令和6年から7年まで行われる耐震工事の概算工事費は。また閉館している期間の機会損失を補う策は。

**市** 耐震補強工事は、伝統的木造建築の価値を保護し、安全性を確保するため天井裏や床下での補強を行う。工事費用は概算で1億円と見込んでいる。整備工事中は部分解体している状況など、その時にしか見ることのできない箇所の特設公開を検討している。

### 合理的配慮の義務化に関して

**議員** 令和6年4月1日から事業者の合理的配慮の提供が法律上も義務化する。商工業者との連携等、草津市の考えは。

**市** 市内の各観光施設においては、個別にバリアフリー対応を実施している施設はあるが、観光庁の観光施設における心のバリアフリーの認定を受けた施設はないことから、環境整備を推進するため、関係団体と連携を密にして市のホームページなどで国の取組から周知していく。

#### その他の質問

- ・共同受注窓口を活用した障害者雇用促進
- ・文化財保護法、地方教育行政の組織および運営に関する法律の一部改正についての市の考え方

## 服部利比郎 草政会



### 小中学校における教員の働き方改革

**議員** 教員業務支援員を活用した事務作業の負担軽減を積極的に図るべきと考えるが本市は少ないと感じる。増員はできないか。

**市** 本市では市費による加配教員や支援員等を配置し、教員の業務負担軽減を図っているが、今後は校務のデジタル化をさらに進めるとともに、「草津市学校業務改革プラン」の全面的な見直しに取り組むこととしており、この中で各種支援員等の配置についても検討していく。

### 中学校部活動の地域移行

**議員** 2025年に向けた部活動の地域移行については慎重な対応が求められる。本市の現状について受け皿整備の方針を伺う。

**市** まずは外部の部活動指導員や支援員を増員することで、教員の負担を軽減する取組を進めている。子どもや保護者の思いや願いを大切にしながら、望ましい部活動の在り方に向け、今後の具体的な課題整理を行い、関係団体とともに受け皿の整備について検討していく。

## 杉江 昇 市民派クラブ



### パーソナルヘルスレコードの普及

**議員** 自分で健康管理ができるパーソナルヘルスレコードの普及のための情報収集について、現在の検討状況を伺う。

**市** 個人向けのアプリなど、事業者によるサービスが可能となった。本市では、県内の医療機関と在宅療養支援機関が情報共有し、医療と介護の連携が進められている。また、市民一人ひとりが健康に関心を持っていただくことで、特定健診やがん検診の受診率が向上し、健康増進につながる。

### 草津市での3つのシティの統合運用

**議員** 健幸都市とガーデンシティ、ゼロカーボンシティは密接に関係している。これらを統合運用するための気運醸成の手応えはどうか。

**市** 3つのシティ計画は密接に関連しており、相互に連携する必要がある。現時点では、分野横断的に推進する機関の立上げ検討には至っていないが、各分野の担当部局と連携を図っており、関係団体とも協議を行いつつ推進機関の立上げを検討する。

#### その他の質問

- ・草津川跡地公園に係る費用対効果と波及する効果での計り方の違い

## 西村 隆行 公明党



### 必要な準備用品を用意できないか

**議員** 誰が初めて見てもわかりやすく使える避難所運営準備用品を各広域避難所に用意しておけないか。

**市** 避難所開設のマニュアルや必要な準備用品の用意については、災害対応で重要な初動期のみをポイントに絞ったわかりやすいマニュアルの整備を含め、必要な準備用品をまとめたキットの整備を、他市の事例を参考に調査・研究する。

### 校内レイアウト図

**議員** 広域避難所としての小学校や中学校で、校内使用許可が学校から提示されない限り、秩序ある避難所の開設は困難だが、校内の使用可・不可のレイアウト図の提出は可能か。

**市** 学校施設管理に必要な校長室や個人情報等を保管している職員室、事務室のほか、危険な薬品や施設・設備がある部屋など、災害の規模等にかかわらず、避難所運営に適さない場所を使用不可範囲として示したレイアウト図を提出することは可能。

#### その他の質問

- ・避難所運営マニュアル
- ・広域避難所になる施設の開設

## 西田 剛 草政会



### コミュニティ・スクールの形骸化

**議員** 一部ではコミュニティ・スクールが形骸化していると言われていたが現状はどうなのか。また今後さらに効果的に活かしていくためには。

**市** コミュニティ・スクールは、めざす子ども像を共有し、地域から信頼され、応援される学校を推進するために、昨年度から地域連携をテーマに設けて熟議し、議事概要をホームページに掲載し形骸化を防ぐ取組を行っている。積極的な情報発信を通して学校への信頼を高め、より多くの団体や地域の方々に参画いただくことを目指している。

### 地域と学校の関わり

**議員** 保護者や地域が学校と連携して、持続可能な魅力のある学びの場づくりの手伝いをしていく必要があると考えるが市の見解は。

**市** 市内の学校では、コミュニティ・スクールが核となり、学校を支えるボランティア組織が立ち上がり、学習補助や環境整備、安全確保等の支援をいただいているという事例も出てきており、このような地域が学校を支える取組を全市的に広げていきたい。

#### その他の質問

- ・教職員確保と業務負担軽減策

## 八木 良人 チャレンジくさつ



### 市のトイレに緊急ボタンを設置

**議員** 他市で人がトイレで倒れて亡くなる事故が発生した。トイレに緊急ボタンがあれば救護できたかもしれない。市役所の全トイレに緊急ボタンを設置し命を守ってほしいが市の見解は。

**市** 市では、バリアフリートイレに緊急ボタンを設置している。しかし、コスト面や維持管理の面から全トイレへの設置は考えていない。国では緊急ボタンは推奨されるにとどまっているので、現在のところ設置する考えはない。

### がん検診受診率向上のための施策

**議員** 早期発見により、90%以上の命が救われることから受診率向上は重要である。受診率アップのための継続的な取組について伺う。

**市** がん検診の個別勧奨通知をカラフルに見やすくしたり、これまでがんの種類ごとに送付していたものを一本化して見せ方を工夫してきた。議員ご指摘のとおり、どう改善していくかということは、今後も継続的にしっかり検討していきたい。

#### その他の質問

- ・紙おむつ等の支援策
- ・保育士への補助金支給
- ・次年度以降の子育て支援策継続



## 遠藤 覚 草政会



### スポーツ・文化芸術に対する活動支援を

**議員** スポーツ・文化芸術分野の市民の活動は市の誇り。大会等参加のための活動支援は垣根なく充実を求める。

**市** 市は市民がより活発なスポーツ・文化芸術活動を行っていただけるよう、ともに激励金制度を設けているが統一した基準にはなっていない。今後、他の自治体の状況を調査し、適切な支援制度のあり方を検討する。

### ロクハ公園、学校プールの今後のあり方

**議員** ロクハプールが老朽化、改修には公園部分を含めPark-PFI<sup>①</sup>として整備を。学校プールは新市立プールの活用を。

**市** ロクハプールは開設後30年が経過。Park-PFIを含む民間活力の検討を行う予定。まずはプールの改修等について検討を行う。学校プールも老朽化が課題。新市立プールまでの移動にかかる課題等はあるが、国スポ・障スポ後を目途に段階的に移行していきたい。

#### その他の質問

- ・(仮称)草津市立プールの進捗状況と機運の高まりについて

## 小野 元嗣 草政会



### 市民要望の警察官増員と交番増設

**議員** 草津警察署は警察官1人あたりの県民負担人口が1,042人で全国基準の2倍以上に及ぶ。人口動態や治安情勢に合った最適化する交番増設を要望するが市の見解を問う。

**市** 依然、草津警察署の警察官の少ない状況であることから、引き続き国・県に対し警察官増員の要望を行うとともに、交番増設についても国・県へ要望していく。

### 南草津駅前渋滞の早急な改善状況

**議員** 県との社会実験も実施され、徐々に改善されていると感じるが、信号機の運用変更を実施され交通流通改善について問う。

**市** 駅前交差点信号機をロータリーから出る方向の青色秒数を15秒延長し、32秒間青色を維持する変更等の時間調整を行った。調整後は国道1号へ進出するまでの信号で停止する頻度が減少し、ロータリー内の渋滞緩和につながり路線バスの定時性が損なわれなくなり渋滞緩和につながった。

#### その他の質問

- ・高齢者や認知症当事者の見守り
- ・笑顔ある子育て推進

## 藤井三恵子 日本共産党草津市会議員団



### 子どもの医療費無料化完全実施を

**議員** 高校卒業まで拡大のため条例改正および補正予算の提案を行っているが、通院の一診療500円の自己負担も無くすべきと考えるが市の見解は。

**市** 通院医療費の自己負担については、少子化対策のため無料実施の市町があるが、本市では市民税課税世帯であれば一診療あたり500円の負担を実施している。子どもにかかる助成は給付と負担の公平性から現在完全無料化については考えていない。

### 学校給食費の無償化の実現を

**議員** 学校給食法に基づき制度改善が求められ、給食費無償化が全国に広がっている。給食費無償化の実施について市の見解は。

**市** 国の子ども未来戦略方針において、「自治体における実態調査等を速やかに行い、小中学校の給食実施状況の違いや法制面なども含め課題整理を丁寧に行い、具体的方策を検討する。」とされていることから今後の動向をみていく。

#### その他の質問

- ・5類移行後のコロナ感染対策
- ・パートナーシップ条例の早期制定を

## 川瀬 善行 草政会



### 風水害に対する備え

**議員** 近年、テレビ等で正確な予知情報を得ることが可能となってきたが、地域住民の避難行動などを端的に伝える仕組みづくりが必要だ。

**市** 河川防災カメラの情報や河川の水位情報は、国や県のホームページから確認できる。このことを市の広報やハザードマップ配布時などでお伝えしているが、市のホームページからこのような情報を直接つなげるような工夫を考える。

### 滋賀県(草津市)の南の玄関口構想の推進

**議員** 草津田上ICを活かして草津PAを通過する高速バスの誘導と路線バス等の結節点を設け、中長距離の旅行や観光客を呼び寄せる拠点づくりを進めるための課題は。

**市** ハード面では、結節するための新たな停車場やロータリー等の整備が不可欠、ソフト面では乗り継ぎニーズの需要予測や運行時間帯等の調整は必要。今後、基本計画を策定していく中で新しい公共交通の形の検討を進めたい。

#### その他の質問

- ・山手幹線の延長を急ぎ、新しい輸送道路としての機能拡張を
- ・全国に発信できる将来都市に向けて

①Park-PFI

公園に施設を設置して運営する民間事業者を公募により選定する制度。

## 山元 宏和 草政会



### 高齢化が進む二極化したまちづくり

**議員** 市内において高齢化が進む地域と若い層が住む地域とがあり、この二極化したまちづくりの進め方について問う。

**市** まちづくりの進め方としては、立地適正化計画を策定し、都市の魅力向上と人口集積に取り組み、また、地域再生計画も独自に策定し、あわせて地域公共交通網形成計画から公共交通環境の充実により、違った魅力ある都市の多様化を進め、生き生きと住み続けられるまちづくりを目指していく。

### コミュニティナースの設置

**議員** 高齢化や人口減少が進む地域においてコミュニティナース制度を導入し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進すべきでないか。

**市** 地区担当保健師制を採用している市としては、コミュニティナースとの活動が重なってしまい、役割分担が難しいなどの課題があることから、その導入については現段階では考えておらず、引き続き地区担当保健師が様々な関係団体等と連携し、市民の健康づくりを進めていく。

#### その他の質問

・志津南環境美化ボランティアの会によるまちづくり

## 栗津由紀夫 市民派クラブ



### 老上学区に向けた施策や事業

**議員** この4年間で127%と人口急増が著しい老上学区に対して、地域コミュニティに向けた施策や事業はあるか問う。

**市** 新たな住民の方々が増加する中で、新旧住民の交流やコミュニティの形成が課題であり、行政からの支援が必要であると意見をいただいている。今年度、課題解決応援交付金を活用していただいていることから、草津市コミュニティ事業団とともに事業実施に向けた支援を予定している。

### 地域課題解決応援交付金等の延長

**議員** 地域の課題を解決するための地域課題解決応援交付金は、令和5年度で打ち切りと聞いている。延長もしくは新たな施策は。

**市** 地域課題解決応援交付金は、令和5年度までの制度で一定の成果があった。しかしながら、各学区における課題に応じた取組はまだ始まったばかりで、持続可能な地域づくりには至っていない。次期交付金制度については、各学区の意見を十分に伺いながら検討したいと考えている。

#### その他の質問

・不登校児の急増に対する施策  
・地域まちづくりセンターの建て替え時期

## 奥村 恭弘 市民派クラブ



### (仮称)新志津運動公園整備費

**議員** これから整備される(仮称)新志津運動公園グラウンドの仕様について問う。

**市** 旧志津運動公園グラウンドの代替施設として整備することを基本としながらも、新しい施設にどのような機能が求められるか、審議会やニーズ調査の際に関係者からの意見も伺いながら、検討を進めていきたいと考えている。

### 国スポ・障スポの市民の盛り上げ

**議員** 市民の皆様を巻き込んだ「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」になるよう、これからどのようなことを想定されているのか問う。

**市** 草津市民には、「デモンストレーションスポーツへの参加」や「競技会場での観戦や応援」のほか、「ボランティアへの参画」を通じて、「する」「見る」「支える」「知る」という様々な立場で関わってもらえるよう、取組を進めていく。



#### その他の質問

・草津市スポーツ協会からの陸上競技と球技機能を加味した施設要望への回答

## 伊吹 達郎 草政会



### 少子化対策方針と若者閉塞感打開策

**議員** 市の方針や出生数の動向と子育て世代と共に経済的不安で未婚化する若者世代の閉塞感打開のために奨学金制度を創設してはどうか。

**市** 国の少子化対策の動向を注視し「子どもを産み育てるなら草津市」をめざす。出生数は全国と同様に減少しており、経済的不安や出会いの機会の減少等若い世代の支援を実施していく。提案の「草津ふるさと奨学金」創設については、教育・子育て支援策が重要で市独自の制度創設は考えていない。

### 公共トイレの充実整備

**議員** 以前にも質問した「誰もが出かけたくなるまち草津」を作るため、公共トイレの充実整備の進捗状況と今後の進め方はどうか。

**市** バリアフリートイレの設置数は155施設中107施設で69%、洋式便器の設置数は2,313カ所中1,538カ所で67%で草津駅や南草津駅のトイレ改修については国スポ・障スポに間に合うよう実施する。その他小中学校を含めた公共施設や災害時のトイレについても計画的に実施していく。

#### その他の質問

・草津川跡地整備の進捗状況と今後の計画  
・市民の移動手手段の確保



## 石本恵津子 チャレンジくさつ



### 孤独・孤立化防止

**議員** 孤独・孤立の当事者等への支援として、サロン等の場の提供や、アクティビティの多様化と活性化に向けた市の考えを問う。

**市** 人材リストの活用、ボランティア登録団体との連携・協働を図り、地域サロンや多世代交流拠点における活動の多様化や活性化を推進する。利用者ニーズを把握し、運営の支援を行う。場所の周知啓発やさらなる充実を図り、聞き取った困りごとに対する支援につなげる。

### イノベーション創出支援

**議員** 創業希望者等が新たな取組に挑戦しやすいまちを目指した取組について伺う。

**市** ビジネス上の課題に、ワンストップで相談可能な体制を構築するため、新たに草津市ビジネスサポートセンターの設置に向け取り組んでいる。企業オフィス等の立地適地の創出に向けた調査検討を進め、起業家等の交流機会の創出は、新たなセンターでの実施を検討している。関係機関とUDCBK等の施設とも連携し、開設に向けて調整する。各支援機関で情報交換を行い、ホームページで発信する。

**その他の質問** ・防災リーダーについて（災害時の情報収集と女性防災リーダー育成）

## 西川 仁 日本共産党草津市会議員団



### マイナンバー保険証の中止を

**議員** 現保険証を廃止し、来年秋にマイナンバー保険証に切り替えられる。誤登録問題や医療団体等からの中止の声に応えよ。

**市** 今年4月12日時点で9,992名（46%）がマイナンバーカードを保険証利用できる状態であるが、本市の運用では、窓口における本人確認や資格取得処理の事後審査も行っていることから誤登録のリスクは原則ない。保険証の一体化に伴い新たに創設された資格確認書の運用等の情報収集に努め、安心いただける医療保険制度の運用に努める。

### 教員の欠員、過大規模校の解消を

**議員** 教員の配置基準から欠員や未配置等の現況と時間外労働の実態と改善策を問う。

**市** 市内小中学校で730名（正規教員670名、常勤講師60名）の定数となっているが、常勤講師が4名補充できておらず、学校や県教育委員会と連携し、確保に向け努力している。時間外労働の実態は月45時間以上が48.8%、月80時間以上が11.6%と減少しているものの依然として多い状況であるため、全面的に見直し、時間外労働の縮減に向け業務改善を進める。

**その他の質問** ・草津学区まちづくりセンターの残業代  
・待機児童を生じさせない保育行政を

## えふえむ草津で 議会活動を報告しました



市民の皆様へ、市議会の活動を  
より知っていただくため、  
えふえむ草津の番組に出演しました!!

●番組名  
「スマートウェルネスくさつ」

●番組テーマ  
「知ってほしい、議会の活動」

えふえむ草津ホームページから、  
オンデマンド放送でいつでもお聞き  
いただけます。



たくさんの方に  
聞いてほしいたび!

## 面垣 和美 公明党



### 感覚過敏の周知とやさしい対応

**議員** 感覚過敏のある人にとっては理解がないことが大変辛い。まずは、教員の理解と正しい認識による支援が必要である。市としても、周知、啓発の方策を講じてほしい。

**市** 教員の理解に違いがあることが現状であり、その解消のために今年も夏休みに研修を実施する。支援については一人一人懇談を行い計画的に支援を進めている。広い周知については、効果的な周知方法について考えていきたい。

### インクルーシブ教育と保護者支援

**議員** 誰も排除しないインクルーシブ教育のあり方と支援が必要な当事者の保護者への情報提供とカウンセリング体制の充実が必要ではないか。

**市** 障害のある子どもが地域で学べるようにインクルーシブサポーターの配置や、医療的ケアが必要な児童への看護師の配置を実施している。情報の提供は大変重要であり、相談先がわかるリーフレット作成をする。市独自配置のSSW②の常駐化について検討中である。

**その他の質問** ・ウェルビーイング③なまちづくりの視点  
・幸福度指標の立命館大学との研究

②SSW（スクールソーシャルワーカー）

教育の分野に加え、社会福祉に関する専門的な知識や技術を有する者。

③ウェルビーイング 社会福祉が充実し、満足できる生活状態にあること。

総務・文教厚生・産業建設常任委員会は、議案審査だけでなく市民生活に関わる課題などの調査・研究を行っています。

令和3年12月から約1年半にわたる調査・研究の結果を6月定例会で議長に報告し、市長に提出しましたので、その内容を紹介します。

各委員会報告書はQRコードからホームページで見られます。

## 総務常任委員会



### 行政手続の オンライン化について

行政手続のオンライン化による市民の利便性の向上や、業務の効率化によって、ICTで豊かさを感じられるようなまちを目指して、デジタル・ディバイド対策やダブルコストの軽減のための業務最適化、SNSの活用、既オンライン化事業のステップアップ、窓口手続数軽減のためのマイナンバーカード啓発といった諸課題を調査しました。

誰もがICTで豊かさを感じられるようなまちを目指して

行政手続のオンライン化は、こうした課題に対応できる人材育成を行いながら、利用者のわかりやすさや使いやすさを追求していくことが必要です。はじめから完璧なサービスを提供することは難しいことでもあるため、「実行する→周知する→利用者の声を聞く→改善する」というサイクルを常に回すことが重要です。業務効率化によって生まれた時間をより丁寧な市民対応時間に充て、さらなる市民の利便性の向上を図り、誰もがICTで豊かさを感じられるようなまちを目指して取り組みよう求めました。



## 文教厚生常任委員会



### 歴史・文化資源を活用した 持続可能な社会の創り手を 育む教育について

地域や家庭での学びの充実や地域協働学校の推進などを通して、社会全体で学びを進めることに加え、歴史・文化・環境などを守り育てるといったSDGsの理念を念頭に置きながら教育を進め、子どもたちへ「郷土愛」や「生きる力」を醸成させることを目的として、地域の担い手の高齢化・固定化や地域差の諸課題およびICT機器の利活用について調査しました。

社会全体で学びを進め、郷土愛の醸成へ



AR(拡張現実)やVR(仮想現実)などの先端技術を活用したデジタル教材を導入することで、課題解決の糸口を見出すとともに、現在や過去を問わず、実際に様子を見て、体験して学ぶことができ、子どもたちの興味関心をより引き立たせ、郷土愛の醸成へとつなげることができると考えました。しかしながら、先端技術を活用したデジタル教材の活用だけでは、課題の根本的な解決には至らないため、社会全体で学びを進めるため、学校と地域のより一層の連携強化が必要と考えます。また、地域の歴史・文化資源のデジタル教材は、地域の記録としても大変貴重なものとなるため、教育面のみならず留まることなく、様々な視点から必要性を検討するよう求めました。

## 産業建設常任委員会



### 人の暮らしを 起点とした持続可能な 都市づくりについて

人口減少や少子化、超高齢化が進む将来、誰もが安心して便利に生活ができる「持続可能なまち」であり続けるために、人の移動に視点を置いた交通のあり方にとどまらず、効率的で利便性の高い人の暮らしを起点とした都市づくりの強化などについて調査しました。

効率的で利便性の高い持続可能な都市づくりに向けて

今見えてくる課題を解決するだけの「需要追従型」ではなく、前例や既存概念にとらわれず、明確な目標に基づき、理想とする未来社会を目指す『目標実現型』で、計画を定め実行するよう求めました。

また、現状分析や課題解決の手法の検討において、デジタル技術を積極的に活用するとともに、民間の技術や収益性、効率性などのノウハウを活用しながら、目標に向かって官民一体となって取組を進めるよう求めました。さらに、それぞれの地域が抱える課題や課題解決に向けた手法を丁寧に検討したうえで、モデル地域を定めた試行的な取組を含めて、施策を積極的に展開するよう求めました。最後に、「人の暮らし」は全ての所管に関するものであることから、全部局においてこれらの点を踏まえた計画策定や施策の展開が行われることを求めました。





# 知ってほしい、議会の活動



## 人権研修会

草津市は「障害のある人もない人も、誰もが輝けるまち草津」を掲げています。しかし、障害に対する理解不足から、無意識のうちに差別的な対応をしてしまうケースは少なくありません。

障害のある人にとって何がバリア・障壁になっているのかを周囲の人が理解し、配慮することで障害はなくすことができます。

日頃から人権意識を高め、障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会の実現に向けて取り組むことが大切であると考え、知的・発達障がい啓発キャラバン隊「びわこ☆めだか隊」の皆様を招き、疑似体験を中心に研修会を実施しました。



### 疑似体験をしてみよう



#### どんな風に見えているの？

ペットボトル眼鏡を使用し、シングルフォーカスを体験しました。シングルフォーカスとは、興味のあるモノ一点に集中してしまう状態を言います。

興味のあるモノに集中し、視野が狭くなったときは、具体的な言葉ではっきり伝える、絵や身ぶりを使ったりすることが大切とのことです。



#### 後出しじゃんけんをしてみよう

じゃんけんに勝たずに「後出しで負けてみる」という、普段やり慣れていないことをする難しさを体験しました。

さらに、「早く！」と急かされることで、的確な判断が遅れてしまうという体験もしました。

普段常識と考えていることと違うことをするのに時間がかかってしまうため、一人一人のペースに合わせて待つことが大切とのことです。



#### どんな風に聞こえているの？

複数人が同時に発した別の言葉を聞き分けられるかで、聴覚過敏を疑似体験しました。多くの音の中から、一つの音を聞き分けるのは非常に難しいです。

音があふれているところで、聞き分けることは難しいため、できるだけ静かな場所で、同時に言わないことが大切とのことです。

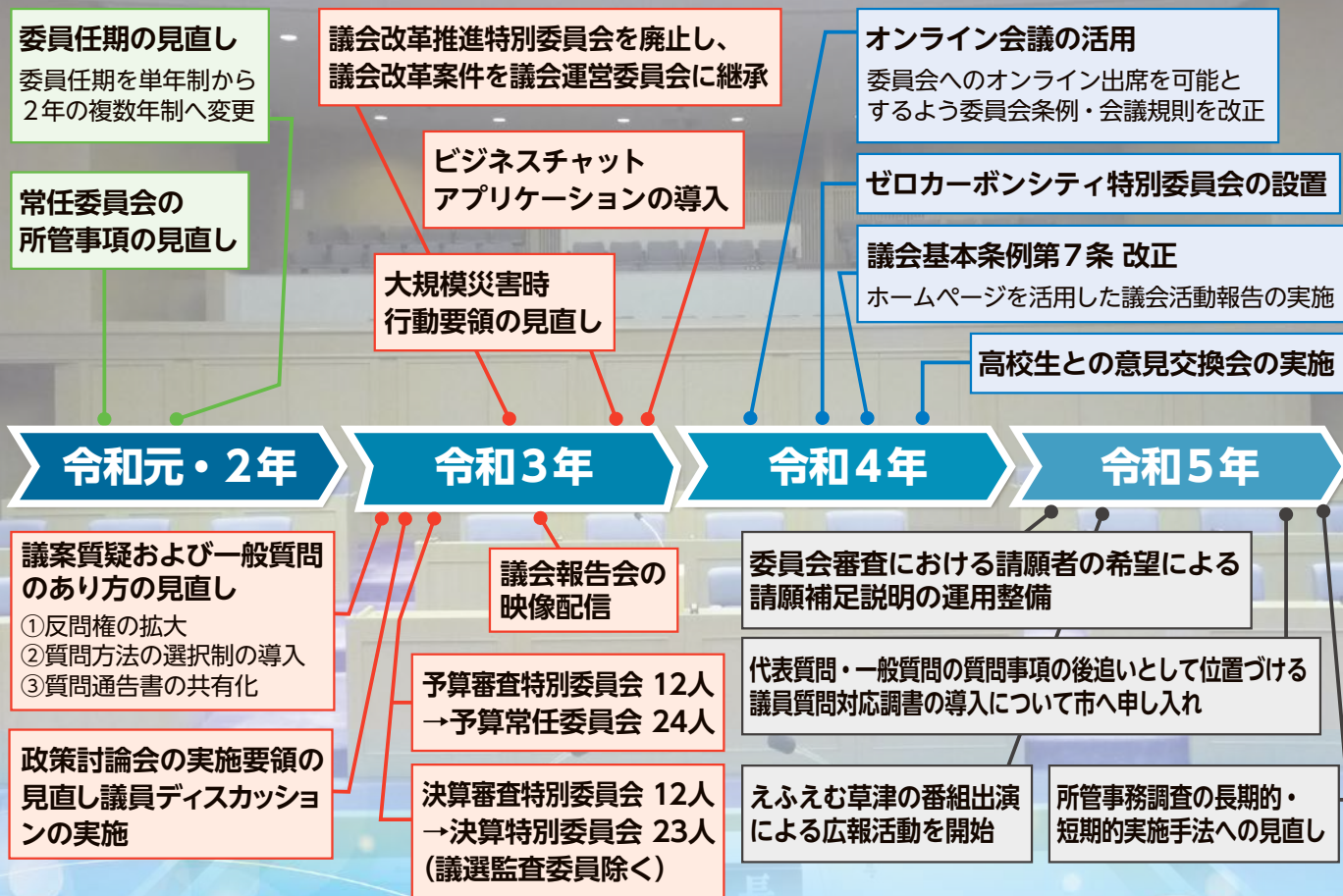


### 研修を終えて

障害に対する理解不足などから無意識のうちに差別的な対応をしてしまうことは少なくありません。特に知的・発達障害は外見上わかりにくいいため理解が進まない現状があることに、今回の疑似体験を通して気づくことができました。

今回の研修を機に、障害のある方への理解をさらに深め、さらなる人権問題の解決に向けた取組を一層推進してまいりたいと思います。

# 議会改革の歩み



**9月10日(日)は、草津市議会議員一般選挙の投票日です。**

現在の市議会議員は、9月末をもちまして4年の任期を満了します。市議会では、市長をはじめとする執行部や議員間において議論を深め、市のさらなる発展に取り組んでまいりました。

選挙は、これまでの議会・議員活動に対し市民の皆さんから評価をいただく機会であり、また今後の市政を決める大きな分岐点ともなります。

期日前投票（9月4日～9日）もできますのでご利用ください。



**ご意見・ご質問をお聞かせください。**

【草津市議会】〒525-8588 草津市草津3丁目13番30号

TEL.077-561-2413 / FAX.077-561-2485 / Eメール gikai@city.kusatsu.lg.jp



**草津市議会ホームページ**

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shigikai/>



**スマートフォン専用アプリ**

マチイロ  
(旧広報誌)



SideBooks  
(地域本棚)



**編集後記**

今回は、任期4年の最終章となります。多様化が進む時勢のなかで、今、解決しておかなければならないことを交えながら個々に掲げた政治課題の達成を目指した質疑は、“議員ひとりだけでなく多くの皆様の声によるもの”と、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

草津市議会広報広聴委員一同